



て と て と て



～親と子どもと教師とがしっかりと手をつないで共に成長していきましょう～

補習校の心の絆を深める2日間でした！

舞台発表における演技や群読、展示された作品を通して、補習校の一人一人が仲間と協力や苦勞を共有して創り上げる楽しさや喜びを味わうとともに、補習校の子どもたち同士や保護者との深い心の絆ができた2日間でした。

先生方、父母会の皆様にも心よりお礼申し上げます

ステージ発表も展示物も補習校の子どもたち1人1人が心を1つにして協力しながら完成させたものであることが、見る者の心を打ったのだと思います。全日制の取組と比べると練習時間が少なく3学年ブロックという発表で大変だったと思いますが、子どもたちと先生方が真剣に取り組んだことが学校祭を成功へ導いてくれました。学校祭への取組を通して、子どもたちは「本気でやることの大切さ」を学ぶことができたと思います。

熱心にご指導いただいた先生方、そしてご支援いただいた父母会の皆様に心からお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

最高★ 学校祭を通して身に付けた3つの力

- ① 与えられたことをしっかりと最後までやり抜く力（責任感）
劇や合唱などの舞台発表が最初から順調にいった学年はなかったと思います。途中でやめたい！と思った人や涙を流した人もいたのでは。学年の1人1人がそれぞれの役割を最後まで責任もって果たしたので、学校祭が成功したのだと思います。
- ② 新しいものを創り出す力（創造力）
他人のまねではなく、自分で考えて新しいものを創り出す力を多くの児童生徒が身に付けることができ、新しい自分や自分の可能性を見つけることができたと思います。
- ③ 仲間同士助け合い、励まし合い協力・協調していく力（協力）
相手の立場や考えを尊重し合い、思いやりの心で1つの目標に向かって力を合わせていく心構えや態度も身に付けることができたと思います。

将来を見据え、今、何が大切なのか？ 「基本的なこと」が大切！

社会に出たばかりの若者は、人の役に立つための技術や経験が不十分です。働きながら必要な技術や経験を身に付けていくためには、あいさつをする、遅刻をしない、準備や後片付けをする、人の話をしっかりと聞く、友だちと協力するなどの「基本的なこと」を身につけることが求められます。これらの「基本的なこと」の多くは、小・中学校時代に身に付けておかなければならないことだと思えます。

★ 小・中学校時代に精一杯頑張る体験を！

将来を見据え、世の中にどんな仕事があるのか？自分にはどんな適性があるのか？自分はどんな仕事をしたいのか？を考えることは、たしかに大切です。

しかし、それと同時に、小・中学校時代に「基本的なこと」を身に付け、積極的に精一杯がんばる経験をするのも大切です。積極的に取り組むこと、自分の力を出し切って精一杯がんばることは、楽しい経験でもあります。その楽しさを味わうことが、将来社会で働くときの基盤になるはずですよ。